

【名古屋市】

様々な社会的要請に対応する、公共施設整備の取組み ～パロマ瑞穂アリーナの整備事業～

瑞穂公園は、市民の憩いの場として親しまれています。瑞穂公園は、昭和16年度に開園し現在約24haの敷地面積を持つ運動公園です。既存の陸上競技場や、野球場などの屋外運動施設に加え、新たに屋内競技場である体育館「パロマ瑞穂アリーナ」を整備しました。市民の利用促進を図っていくとともに、各種大会を誘致し、スポーツを核としたにぎわいや交流を創出していきます。



緑化計画

敷地全体で「緑化地域制度」に基づく必要緑化面積を確保しています。採用している植栽は、清掃などの管理面から、常緑樹を主体としつつも、季節が感じられるような区の花である桜（落葉）やアジサイ（落葉）をアプローチ広場に配置しています。

ドローン撮影写真



雨水流出抑制計画

雨水貯留槽を地下に設置するとともに、浸透能力の高い透水性アスファルト舗装や透水性平板ブロック舗装を採用しています。

災害時の緊急物資搬出入計画

防災面において、市南東部における緊急物資集配拠点としての機能を付加した施設としています。災害時において、風雨にさらされずに緊急物資を搬入できるピロティ構造としました。輸送車両からの「荷卸し、受入れ」、「仕分け・在庫管理」、「物資の払出」の作業が一連の流れで行えるよう、駐車場→ピロティ→第3競技場を隣接させました。

パロマ瑞穂アリーナ 建物概要

構造：SRC+S造
階数：4階建て
延べ面積：9489.79㎡
所在地：名古屋市瑞穂区
田辺通3丁目4番地

働き方改革・生産性向上 への取組み

「パロマ瑞穂アリーナ」の工事において、下記の働き方改革・生産性向上への取組みを行いました。

- ・週休2日制の採用
- ・デジタル朝礼看板の採用
→図面や画像、動画を大画面に映すことで数百人規模での情報共有化を実現
- ・デジタル小黒板の採用
→工事における写真撮影や撮影後の写真整理を省力化
- ・現場事務所の整備充実
→水洗トイレの設置、シャワー室、更衣室の設置



2Fロビー



パロマ瑞穂アリーナは山崎川の東側に位置しています。山崎川の桜は、「さくらの名所100選」に選定された全国的に有名な桜の名所です。石川橋から落合橋までの約2.5キロメートルの両岸には約600本のソメイヨシノの並木が続きます。ぜひ桜の季節にお越しください。